

氏名 佐々木 翔	役職 准教授	専門分野 建築デザイン (意匠)
-------------	-----------	---------------------

1. 主な研究テーマ

建築デザイン (意匠) をテーマとしています。佐々木翔は本学の教員と同時に設計事務所「INTERMEDIA」の主宰、および地域拠点施設である「水脈 mio」の代表を務めており、リアルタイムで実務を行っている知見や経験をゼミ生と共有し、様々な課題を共に考え、共に取り組んでもらうような研究室です。特に、長崎という固有の地域を深掘りすることで、これからの建築や地域のあり方を模索しています。例えば以下のような視点です。

【研究の視点】

- ・長崎特有の歴史や風土、そして現在の状況から建築や地域のあり方を考える
- ・人口流出・少子高齢化・過疎化などの地域課題に直面している長崎で、今、建築に何ができるのかを考える
- ・長崎ならではの建築や地域が生まれる可能性を秘めている (特殊解)
- ・日本や世界の他地域でも参考になる建築や地域が生まれる可能性を秘めている (一般解)
- ・佐々木翔が主宰する設計事務所「INTERMEDIA」では既に様々な地域課題に関わり始めているが、設計事務所としての関わりだけでなく、研究という視点から、学生とともに建築や地域に幅広く関わりを持ちたい

【具体的な研究内容】

- ① **地域拠点施設に関する研究** | 近年、空き家等を活用した各地域の拠点になるような施設が全国的にも長崎にも増えてきており、それらの社会的背景や事例調査等を行っています。
- ② **JR 道ノ尾駅再生プロジェクト** | 築 100 年の無人駅・JR 道ノ尾駅を再生へ福祉とデザインで「人のいる駅」を取り戻すプロジェクトに INTERMEDIA と共に関わっています。
- ③ **旧料亭再生プロジェクト** | 長崎市内に現存する江戸時代後期の歴史的建造物について、実測調査や安全性の検討、利活用のあり方等に関わっています。



地域拠点施設の事例 | HOGET



地域拠点施設の事例 | 水脈 mio



JR 道ノ尾駅再生プロジェクト

2. キーワード

建築、設計、デザイン、まちづくり、空き家、空き店舗、歴史的建造物、リノベーション、コミュニティ、過疎化、少子高齢化、地域社会

3. 特色・研究成果・今後の展望等 (社会実装への展望・企業へのメッセージもあれば)

空き家・空き店舗等を改修し利活用した建築について、これまで設計者の立場として数多くの案件に関わってきました。また、島原の水脈 mio では設計だけでなく運営者としても携わっています。本研究室の設置により、今後は各地域へより多様な関わり方が可能となります。少子高齢化や過疎化によって全国各地で空き家やコミュニティの希薄化などの地域課題が進行する中、学生たちにも当事者の一員として主体的に関わってもらいたいと考えています。

【参考例】

HOGET (設計) : <https://hoget.jp/>

水脈 mio (設計運営) : <https://mio-shimabara.com/>

JR 道ノ尾駅 (設計+研究室) : <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000005.000126742.html>

researchmap : <https://researchmap.jp/sasakisho>

HP: <https://www.intermedia-co.jp/>